

LINE予約 道選びキット

3つの質問と費用の合計を書き込んで、LINEで予約を受ける道を1つに決める7枚

この7枚でできること

- ☐ 3つの道のどれを選ぶかが、3つの質問で決まる
- ☐ LINE公式アカウントと予約システムを足した月額と、リマインドの通数が出せる
- ☐ 飲食店限定やミニアプリの審査など、計画がずれる場所を先に知っておける
- ☐ 予約の会社に、契約前に聞く5点をそのまま送れる

使う順番

2ページで道を決める → 道3なら3ページで計算と4ページで候補を3つに → 5ページで止まることを確認 → 6ページで流れと5つの答えを書く → 7ページの文で問い合わせる。道1なら7ページの手順だけで終わる。

目次

2	判断シート 3つの質問で道を決める 3つの道の違い、3つの質問、道1の天井4つ
3	合計費用と通数の計算表 道3のタイプ3つ、記事の3つの例、リマインドの通数の計算
4	業種で絞る 12業種 業種ごとの道と理由、候補を3つに絞る欄
5	止まること、戻れないこと 飲食店限定、審査の日数、サービスメッセージの条件など12項目と日程の逆算
6	予約1件の流れと、契約前に聞く5つ 人の手になる4か所、候補ごとの答えの記入欄、無料の読み方
7	問い合わせ文と、つまずきやすい3か所 道1の3手順、5点を聞く問い合わせ文、確認表

数字と決まりの出どころ

この資料の数字と決まりは、講座の記事本文に書いたものだけです（記事の確認時点。LINEヤフーとLINE Developersの公式ページは2026年9月4日に確認）。予約システムの月額はめやすです。契約の前に各社の公式ページで確かめてください。

判断シート 3つの質問で道を決める

LINE公式アカウントに予約の機能は無い。足し方は3つだけ

道	中身	追加の月額	使える人
道1 標準機能だけ	リッチメニューやチャットから、外の予約ページへ送る	0円	全員
道2 LINEで予約	LINEヤフーが提供する予約のしくみ。LINEの中で予約が完結する	連携する会社の契約による	飲食店だけ
道3 外部の予約システム	予約の会社のサービスをLINEとつなぐ。ミニアプリを自分で作る形も含む	1,000円台から数万円	全員

上から順に検討します。道3から入ると、いちばん高いところから比べ始めることになります。

3つの質問（上から順に答え、当てはまるほうを○で囲む）

質問	はい、または多い	いいえ、または少ない
質問1 飲食店ですか	道2を最初に検討する。連携している予約の会社をすでに使っているなら、その会社に聞くだけで済む	道2は選べない。質問2へ
質問2 予約は1日に何件ありますか	数件より多い → 質問3へ	数件まで → 道1で足りる。リッチメニューに予約ページのURLを入れるだけ
質問3 リマインドを自動で送りたいですか	道3。シンプル型から見て、合計の月額で比べる	道1のままでよい。件数が多くなければ予約表とLINEが別でも回る

道1の天井 4つ。いま困っているか

困ること	なぜ起きるか	うちは（○で囲む）
夜中の予約が朝まで確定しない	人が返すまで確定しないため	困っている / いない
ダブルブッキングが起きる	予約表と、トークが別の場所にあるため	困っている / いない
前日のリマインドを手で送ることになる	自動で送るしくみが標準に無いため	困っている / いない
誰がいつ予約したかが残らない	トークの履歴を追うしかないため	困っている / いない

どれかで実際に困っているなら道2か道3へ。困っていないなら道1のままで構いません。手作業で回らなくなる目安は、講座の筆者の感覚で1日10件です。

うちの道 道1 / 道2 / 道3 （○で囲む）

1日の予約件数 → 件 理由 →

合計費用と通数の計算表

予約システムの月額だけで決めない。LINE公式アカウントの月額はそのまま残る

道3のタイプは3つ

タイプ	何に強い	月額のみやす
予約管理だけのシンプル型	予約の受付と管理だけを安く回す	1,000円台から
配信や分析も入った多機能型	予約と、配信の出し分けを1つにまとめる	1万円台から
予約サイトにも出すタイプ	LINE以外の経路からの予約も一緒に管理する	サービスによる

記事の3つの例（LINE公式アカウントの料金は税別）

使い方	LINE公式アカウント	予約システム	合計
月200通まで、予約は月30件	コミュニケーションプラン 0円	シンプル型 1,500円	月1,500円
月3,000通、予約は月100件	ライトプラン 5,000円	シンプル型 1,500円	月6,500円
月2万通、予約は月300件	スタンダードプラン 15,000円	多機能型 15,000円	月30,000円

月1,500円のつもりが、配信が増えてプランも上がり、合計で月6,500円になっていた、という形が起きます。

うちの計算

比べる候補	月の通数	LINE公式アカウントのプランと月額	予約システムの月額	合計

リマインドの通数

送り方	LINE公式アカウントの通数を使うか
LINE公式アカウントのメッセージ配信で送る	使う
予約システム側の機能で送る	サービスによる。契約前に必ず確認する
ミニアプリのサービスメッセージで送る	LINE公式アカウントの配信とは別のしくみ

月の予約件数	1件あたりの通数	リマインドの通数（件数×通数）	ふだんの配信の通数	月の合計
例 300件	2通	600通		無料枠の月200通では足りない

業種で絞る 12業種

業種が決まれば、比較サイトの十数個を全部見る必要はない

どの道になるかは、業種でかなり絞れます。講座の筆者が相談を受けてきた範囲で、いちばん多い形に当てた例です。どれも架空の店です。

業種	道	理由と、選ぶときに見るところ
居酒屋	道2	予約台帳をすでに使っているなら、その会社に連携を聞く 26字
イタリアン	道2	LINEで予約が使えるのは飲食店だけ。連携先の会社かを確認する 31字
美容室	道3	指名とメニューで所要時間が変わる。時間の枠を持てるものを選ぶ 30字
ネイルサロン	道3	施術メニューごとに時間が違う。時間の枠を持てるか 24字
まつげサロン	道3	施術メニューごとに時間が違う。時間の枠を持てるか 24字
整体院	道3	予約が同じ時間帯に集中し、ダブルブッキングが起きやすい 27字
整骨院	道3	予約が同じ時間帯に集中し、ダブルブッキングが起きやすい 27字
歯科	道3	診療時間の枠と、初診と再診の区別を持てるものを選ぶ 25字
ヨガスタジオ	道3	1つの枠に複数人が入る、定員のある予約に対応しているか 27字
料理教室	道3	1つの枠に複数人が入る、定員のある予約に対応しているか 27字
税理士事務所	道1	件数が少なく、日程調整のツールをすでに使っていることが多い 29字
通販の雑貨店	道1	予約が発生しない。相談の日程だけならリッチメニューで足りる 29字

うちの候補を3つに絞る

自分の業種で、時間の枠の持ち方が合うものだけを3つに絞ってから、3ページで費用の合計を出します。機能の多さでは選びません。

候補のサービス名	タイプ	時間の枠の持ち方は合うか	月額

止まること、戻れないこと	先にやること
LINEで予約は飲食店だけが対象	公式ページの見出しが「LINEで予約（飲食店対象）」。連携先9社のほとんどに「飲食店様のみ対応」。美容室、整体院、クリニックは選べない
LINEで予約は管理画面のスイッチでは始まらない	予約の会社と契約し、その会社の管理画面からつないでもらう
飲食予約プランは管理画面から申し込めない	LINEのセールspartnerに問い合わせる。管理画面を探しても置かれていない
ミニアプリの審査に1週間から2週間	却下されると再申請と再審査にさらに数日。開店に合わせるなら逆算する
審査に通っても、すぐ検索には出ない	自分でボタンを押す。押さないまま30日が過ぎると、31日目の午前9時に自動で検索できる状態になる
未認証ではサービスメッセージを使えない	予約完了の通知やリマインドに使うので、予約に使うなら認証済みのミニアプリが前提
サービスメッセージは1つの操作に最大5回	予約1件に対して、完了通知と前日リマインドなどを合わせて5回まで
サービスメッセージで広告や販促は送れない	禁止されている通知 → 値下げ、特典、新商品、割引クーポン、プロモーション
テンプレートは1チャンネルに20個まで	サービスメッセージは用意されたテンプレートから選ぶ。テンプレート自体にも審査がある
日本で送ったサービスメッセージは自分のトークに届かない	「LINEミニアプリ お知らせ」という共通のトークルームに出る。テストのときはそこを見る
2026年10月21日、プロフィールの自由記述は削除すると戻せなくなる	予約の受付時間や注意書きを書いているなら、その前に手元へ控えを取る
予約のデータを書き出せないサービスに預ける	予約のデータは顧客名簿そのもの。出せない形で預けると乗り換えができなくなる

ミニアプリを使う場合の日程の逆算

出したい日	審査（1週間から2週間）	却下に備えた予備（数日）	審査に出す日（これより前）
	2週間を見る		

ミニアプリを自分で作るのは、ウェブサイトをつくるのと同じ仕事です。予約を受けただけなら、ミニアプリの形で提供されている予約サービスを契約するほうが速くて安い。検討する価値が出るのは、会員証とポイントと予約を1つにまとめたい段階です。

予約1件の流れと、契約前に聞く5つ

入れる前に、予約が1件入ったときの流れを最後まで思い浮かべる

#	お客様側	店側	道1では	うちは誰がやるか
1	リッチメニューから予約ページを開く	まだ何も起きない		
2	日時と人数を選んで送信する	予約が入った通知を受け取る	人の手	
3	予約完了の通知を受け取る	予約表に自動で入る（道3の場合）	人の手	
4	前日にリマインドを受け取る	自動で送られる（設定した場合）	人の手	
5	来店する	予約表を見ながら受け入れる		
6	帰る	来店の記録が残り、次の配信に使える	人の手	

道1では2、3、4、6の4か所が人の手になります。この4か所が手作業でも回る件数なら、月額を払う理由はありません。

契約する前に聞く5つ（候補ごとに答えを書く）

#	聞くこと	候補A	候補B	候補C
1	リマインドは、どこから送られるか（LINE公式アカウントの通数を使うか）			
2	LINEの友だちと、予約したお客様はひもづくか			
3	予約のデータは書き出せるか（乗り換えるときに持ち出せるか）			
4	同じ時間に複数人を入れられるか（教室では必須）			
5	最低の契約期間はあるか（月ごとに止められるか）			

答えが濁るサービスは避けたほうが無難です。3番目が見落とされがちです。

「無料」と書かれているものの読み方

確かめること	候補A	候補B	候補C
予約の件数に上限があるか（月〇件まで、が多い）			
予約ページに提供会社の広告や名前が出るか			
リマインドの自動送信が無料の範囲か（いちばん効く）			

決めた候補 A / B / C （○で囲む）
合計の月額 → 円 決めた理由 →

問い合わせ文と、つまずきやすい3か所

道1の手順は3つ。道3は問い合わせから始まる

道1の手順（リッチメニューから予約ページへ）

#	手順	やった日
1	リッチメニューを開いて、予約に使う枠を選ぶ（6分割にしておくと、予約とメニューと地図とクーポンを一度に置ける）	
2	アクションで「リンク」を選ぶ	
3	予約ページのURLを貼る。自社サイトの予約フォームでも、外部の予約サービスのページでもよい	

予約の会社への問い合わせ文（道3）

〇〇御中

はじめてご連絡いたします。〇〇（業種 → 〇〇）の〇〇と申します。
LINE公式アカウントとつなぐ予約システムを検討しており、契約の前に5点確認させてください。

1. リマインドは、どこから送られますか。LINE公式アカウントのメッセージ通数を使いますか
2. LINEの友だちと、予約したお客様はひもづきますか
3. 予約のデータは書き出せますか
4. 同じ時間に複数人の予約を入れられますか
5. 最低の契約期間はありますか

いまの状況
予約の件数 → 1日あたり〇〇件
LINE公式アカウントのプラン → 〇〇プラン

よろしくお願いいたします。

つまずきやすい3か所

起きること	見るところ	確かめた日
予約ページのURLを貼ったのに、リッチメニューを押しても開かない	https から始まっているか、余分な空白が入っていないか。リッチメニューを保存し直したか	
予約は入っているのに、誰が予約したか分からない	LINEの友だちと予約システムの顧客が別管理。予約システム側にLINEと連携する機能があるか（無いものもある）	
リマインドを送ったら、ブロックされた	予約の確認とリマインド以外のお知らせを、同じ流れで送っていないか	

2026年10月21日の前に、プロフィールの自由記述の控え

予約の入口をプロフィールに置いている場合だけ。自由記述に書いた予約の案内は、削除すると戻せなくなります。

項目	いま書いてある文（そのまま写す）	控えた日
予約の受付時間		
予約の注意書き		